発刊によせて

高知県高等学校文化連盟

令和3年度会長　森本 民之助

高知県高等学校文化連盟（以下、高知県高文連という。）は、高校生の文化芸術活動を広く支援し、活動の充実、水準の向上に向けて様々な行事や研修会、講習会を開催し、必要に応じて文化芸術に関する調査研究を行っています。本年度も令和２年から続く新型コロナウイルス感染症により、学校での教育活動には制限があり、日ごろの学習活動や部活動などに影響を及ぼしています。そのような状況の中でも各校の努力や工夫により、高校生の文化芸術活動が継続できていることは、関係するすべての方々の強い思いがあってのことと承知しています。

さて、本年度は、昨年度（令和2年度）に開催した第44回全国高等学校総合文化祭（2020こうち総文）のレガシーを、どのようなカタチで高校生の文化芸術活動の充実と発展につなげるかを検討・実行する年度でもありました。

令和3年7月31日（土）～8月6日（金）に、第45回全国高等学校総合文化祭（紀の国わかやま総文2021）が開催され、本県からも総合開会式や各部門に関係者や代表生徒が参加しました。観客の入場には制限がありましたが、実際に大会が開催されたことは大変嬉しく思います。2020こうち総文を開催したことで、大会を途切れさせずに繋げることになり、その意義の大きさを改めて確認しました。また、高知県高文連の活動が、県民の方々に徐々に知られるようになり、高校生の文化芸術活動への関心が高まりました。県民の方々からは、全国大会への出場に関すること、各部門の開催日時や場所など運営に関すること、審査のあり方に関する問い合わせが高文連事務局に寄せられました。より多くの方々に関心を持って頂くことはありがたいことですので丁寧な対応を心がけています。各専門部におかれましても適切な専門部運営をお願いするとともに、広報活動に力を合わせて取り組みたいと思っています。

令和3年11月9日（火）～11月21日（日）に開催した第44回高知県高等学校総合文化祭（以下、高文祭という。）では、開会式を高知市文化プラザかるぽーとの大ホールで行い、ステージでの催しを企画しました。本県の中学生にも関心をもっていただくよう、高知県中学校長会と高知市立小中義務教育特別支援学校長会中学校会に協力をお願いすることができました。また、高文祭の生徒実行員会を組織し、高校生32名の委員が限られた中で検討・協議を行いました。大会テーマを「歴史を紡ぎ　未来につなぐ　文化の融合」に決め、高校生が主体となって立派な開会式を創り上げることができました。今後も生徒実行委員会の取組を継続したいと考えています。

令和3年4月に、高知県高文連事務局が高知丸の内高校から高知小津高校に移転しました。長らくお世話になった高知丸の内高校には謹んでお礼と感謝を申し上げます。また、高知小津高校にはこれからお世話になります。どうぞよろしくお願いします。高知県高文連事務局の活動も県内だけに止まらず全国高等学校文化連盟や四国地区高等学校文化連盟との連携をさらに充実させ、新たな発展につなげてまいりますのでご理解とご協力の程よろしくお願いします。

最後になりますが、各校での文化部活動や地域文化の発展に、様々な取組や支援を続けている専門部会長、専門部長や理事、そして関係者の皆さまにはいつも多大なご尽力をいただいております。感謝とお礼を申し上げご挨拶とさせていただきます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和４年３月３１日